

第1回 南知多町立小中学校規模適正化懇談会会議録

開催日時	令和2年6月3日（水） 午前11時～12時 (午前9時30分～11時：現地視察)
開催場所	南知多町役場 大会議室
出席者	参加者：25名 事務局：教育長、教育部長、学校教育課長、指導主事、学校教育課主幹兼係長 オブザーバー：町長、企画部長、教育委員5名
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 参加者・事務局紹介 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 南知多町立小中学校規模適正化懇談会の目的と運営について (2) アンケート結果・意見交換会での意見を踏まえた学校教育の在り方（案）について (3) 今後のスケジュール (4) その他 <p>○資料 別添のとおり</p>
傍聴人	1名

内容

1 開会	
事務局	<p>ただいまから、第1回南知多町立小中学校規模適正化懇談会を開催します。</p> <p>それでは、お手もとの次第に沿って議事の前まで、私が進行させていただきます。始めに教育長がごあいさつ申し上げます。</p>
2 あいさつ	
教育長 (あいさつ)	<p>改めましてこんにちは。南知多町教育委員会教育長の高橋篤です。本日は、過密なスケジュールで申し訳ありませんでした。ここで会議だけをやっても良かったのかもしれませんが、現地、学校そのものを見ていただいた方がこれからの話し合いの上で良いと思い、視察を行いました。</p> <p>本日は、ご多用の中ご出席いただきありがとうございます。本来ですと4月15日に第1回目を開催する予定でしたが、コロナの関係で遅れてしまいました。スタートは遅れましたが、委員の皆様には、懇談会の内容を各団体にご報告いただき、逆に、各団体のご意見をこちらにご報告いただき、中身の濃い懇談会にしていきたいと思っております。日程は少しつまりますが、9月までには5回の懇談会をしていきたいと考えています。</p>

	<p>今回の懇談会を迎えるにあたり、昨年7月に子育て世代を対象にアンケートを実施し、8月に町内の教職員のアンケートを実施しました。ご協力いただきありがとうございます。これらの結果をもとに10月、11月に各地区の意見交換会を実施しました。さらに意見交換会で保護者の皆さんの話を十分に聴くことができなかった地区には、今年の2月、3月にPTA新旧役員会などにお邪魔し、ご意見をお聴きしました。地域の方や保護者の皆様のご意見を直接聴くことができ、大変参考になりました。ありがとうございました。</p> <p>懇談会は単に「学校統合をどうするのか」というものではなく、南知多町の学校をどのようにし、町の将来を担う子供たちをどのように育てていくのかを考えることとなります。将来のまちづくりに直結する、分岐点になると考えています。資料を持ち帰っていただき、是非、資料の内容をそれぞれの団体でご協議ください。</p> <p>この会には、オブザーバーで町長が出席しています。他の公務と重ならない限り、いや、重なっても優先してみなさんのお声をお聴きしたいということでオブザーバーという形で参加させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>3 自己紹介</p>	
<p>事務局</p>	<p>次に、本日は最初の懇談会ですので、参加者の皆様と事務局の紹介をいたします。お手元の、懇談会参加者名簿をご覧ください。本来ですと、自己紹介をいただくところですが、時間短縮のため座長の渡辺様のみ自己紹介をお願いし、他の参加者の皆様につきましては、お手元の名簿番号順に私がお名前を読み上げさせていただきますので、その場でお立ちください。それでは、渡辺様、自己紹介をお願いします。</p>
<p>座長</p>	<p>皆さんこんにちは、初めてお会いする方も多いと思いますが、日本福祉大学社会福祉学部教員の渡辺忍と申します。</p> <p>元々研究者でなく、2012年まで名古屋市の職員で児童相談所におりました。大学では児童福祉学、心理学、ソーシャルワークを教えています。教員をするとき同時にスクールカウンセラーをやりたいということで、ご指名を受けたのが内海中学校でありました。スクールカウンセラーとして週に1回、夜遅くまで、生徒や教員と話し合っていて楽しい4年間でありました。日頃は、本学の学生が保育実習や教育実習でお世話になっていることも多い町であり、少しでも南知多町の課題に対して協力したいということで座長をお受けいたしました。よろしく申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、参加者の方を順に読み上げさせていただきます。</p> <p>(南知多町立小中学校規模適正化懇談会参加者名簿により読み上げ)</p> <p>以上で、紹介を終わります。</p>

事務局	これより懇談会の議事に入らせていただきます。懇談会の議事は、懇談会開催要綱によりまして、座長にお願いいたしますので、よろしくお願ひします。
4 議事 (1) 南知多町立小中学校規模適正化懇談会の目的と運営について	
座長	<p>それでは、お手元の次第に従い、議事を進行させていただきます。</p> <p>「議事（1）南知多町立小中学校規模適正化懇談会の目的と運営について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料1「南知多町立小中学校規模適正化懇談会開催要綱」を説明します。</p> <p>第1条の設置では南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画の策定に当たり、意見又は助言を求めることを目的としています。</p> <p>第2条、意見又は助言を求める事項は「南知多町立小中学校の適正規模・適正配置に関する事」、「その他基本計画の策定について必要と認められることです。第3条から第5条は記載のとおりです。</p> <p>第6条、この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営等に関し必要な事項は、教育長が定めるとしています。</p> <p>資料2「南知多町立小中学校規模適正化懇談会の運営について」案ということで委員の皆様にご承認いただければこのようにしたいと考えています。</p> <p>1 懇談会を公開することについて</p> <p>会議は公開することとし、会議の開催前に「会議開催のお知らせ」を町のホームページに掲載するなど、あらかじめ会議の開催を公表する。</p> <p>ただし、公開することにより公正かつ中立な審議等に著しい支障を及ぼすおそれがある場合は、座長の判断で傍聴を認めないことができるものとする。</p> <p>2 傍聴要領について</p> <p>会議の傍聴についての定員はないが、傍聴席が満員となったときは、傍聴人の入場を止める。会議を傍聴しようとする者は、その住所氏名を傍聴人受付簿に記入することとする。</p> <p>3 会議録について</p> <p>会議録については、発言の要旨を記載した要点記録、個人名は無記名として作成する。事務局で会議録を作成し、参加者の方に確認していただいた後に、町のホームページに掲載するなどの方法により、公表する。</p> <p>懇談会参加者の氏名は、本日配付している資料の参加者名簿を町のホームページに掲載するなどの方法により公表する。</p> <p>掲載内容・・・日時、場所、出席者、議事、発言者（委員名は非公開）、 発言の主な内容</p> <p>特段ご異議がなければこのようにしたいと考えています。</p>

座長	<p>事務局から、懇談会の設置要綱及び運営についての説明がありました。まず、懇談会の設置要綱についてご質問はございませんか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>次に、懇談会の運営につきましてご質問、ご意見などがございましたらお願いいたします。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>事務局案のとおりでよろしいでしょうか。それでは、懇談会の会議は公開とすること、会議要録を作成すること、そして、町のホームページに掲載することといたします。ご理解ください。</p>
(2)「アンケート結果・意見交換会での意見を踏まえた学校教育の在り方(案)」について	
座長	<p>次に議事「(2) アンケート結果・意見交換会での意見を踏まえた学校教育の在り方(案)について」教育委員会の説明を求めます。</p>
教育長	<p>資料3「アンケート結果・意見交換会での意見を踏まえた学校教育の在り方(案)」について説明</p> <p>昨年10月、11月に行った地区意見交換会、今年2月、3月に行ったPTA役員会での意見や、夏に行ったアンケート結果を分析した結果、「学校教育の在り方について」の案を提案します。案ですので決まっているものではありません。また、本日、決定するわけではありません。今後の懇談会の中でご意見を伺いたいと考えています。</p> <p>1 南知多町で育てたい児童生徒像について</p> <p>この児童生徒像は、今年2月定例教育委員会で決定しました南知多町の学校教育の指針です。</p> <p>「郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒」</p> <p>これについては、懇談会の中で変えるというものではありません。これを元に学校規模適正化を考えていくこととなります。</p> <p>国全体の目標である「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」を基盤とした「生きる力」を育むため、南知多町では、「生まれ育った地域の歴史・文化・伝統の中で生まれながら学び、郷土に誇りをもてる児童生徒を育てる。さらに、成長とともに多くの人との出会いの中で視野を広げ、心身を鍛え、豊かな心と人間性を培い、社会の形成者としての資質を備えた人を育てる。」としています。</p> <p>2 基本的な学校教育体系について</p> <p>意見交換会、アンケートで様々な意見をいただきました。それらの意見を踏まえた学校教育の在り方を示しました。</p> <p>1中5小。これは、町内で1つの中学校と5中学校区に一つずつの小学校というものです。</p> <p>縦横連携教育、つまり学校だけでなく連携して南知多町を一つの学びの場とするというものです。</p>

「ただし、両島中学校についての課題が克服されるまで、3中5小とする。」半島側の中学校一つと両島に一つずつの中学校とし、小学校は5つにしようという案です。篠島、日間賀島にお邪魔して意見を聞いた結果、一緒になるにはまだ、課題が多いのではないかというご意見をいただきました。そこで、懇談会の中でいろいろな提案をさせていただき、「これだったら、一緒になれるのではないか」とご意見がまとまってくるようであれば1中。まだ時期尚早であれば3中ということになることもありうるということです。

縦の連携は小・中学校間だけでなく、保育所・高校・大学なども含めた異校種間連携、横の連携は他の小・中学校、特別支援学校、家庭、地域、各種施設・団体との連携です。これについても今日結論を出すわけではありませんが、これを元に懇談会の中で考えていきたいということです。

3 縦横連携教育の具体的な手立て例

<小学校>

「小学校では、家庭から身近な地域へと視野を広げ、生まれ育った地域の歴史・文化・伝統を学ぶ。そして、町内他地区のことを学ぶことによって、各地区同士の関わりや歴史についての理解を深めるとともに、南知多町と関わりのある他市町村について知る。さらに、高学年では、町内各小学校間の交流を通して中学校生活への準備をする。教育課程についても各小学校間の連携を深め、各地区の特性を生かしつつ、可能な限り町内で統一を図る。」というものです。

小学校については、5つの小学校という案を出しました。意見交換会ではこの際一気にまとまったほうが良いのではないかという意見や、中学校区に残した方が良いという意見もありました。考え合わせた結果、各地域の文化と歴史を守る意味でも、各中学校区に残す案を提案しました。

(1)生活科の1年生で「家の中の仕事」について学び、2年生では地域のいろいろな施設や人々について学ぶ。さらに、3・4年生では社会科の副読本「みなみちた」を活用して他地区のことについて学ぶ。これらの学習を深めるため、スクールバスや海っ子バスを利用して他の4地区へ出かけ、名所や施設を見学して文化・歴史への理解を深める。というものです。

スクールバスは町で何台か持っていますが、海っ子バスを活用できないかと考えています。授業の中で、各学級単位で海っ子バスを活用できたら良いと考えます。副読本「みなみちた」を見て学ぶだけでなく、実際に他の4地区に出かけて自分の目で見て学ぶようにしたいと考えています。町内に住んでいても「ここに来るのは初めて」というところがあるかと思っています。いろいろな地区の勉強をさせたいと思っています。

(2)5・6年生では、それまでの地域学習を生かして地域への情報発信をしたり、地域の一員として各種行事へ参加したりします。

せっかく他の地区のことを学んでくるので、お年寄りの方々などに発信できるような場面があるといいなと思います。

(3) 4年～6年生で、町内陸上大会や小学校体育大会等を通して交流を図る。これらの大会の在り方について検討する。

現在4種目の大会がありますが、参加人数の関係で参加できていない学校もあります。すべての小学校が参加できるようにならないか考えていきます。

(4) 5年生の夏に全小学校が八百津町に行き、友好交流町について学ぶ。(可能な限り合同で)。南知多町は八百津町と友好交流町になっています。篠島小が交流していますが、他の小学校は知らないところが多いのが現状です。せっかくの友好交流町なので、そこに行ったらどうかと思います。

・杉原千畝記念館　・兼山ダム　・五宝滝見学など

(5) 6年修学旅行は、複数校合同で京都・奈良に出かけ、交流を図る。(可能なら全校一緒に)

(6) 小学校職員と保育所職員、中学校職員との交流研修および情報交換会を行う。

現在、多少はできていますが将来はもっと密にしたいと思います。

<中学校>

「他地区の生徒とお互いに情報交換をしながら、南知多町全体への学びを深める。そして、本町の良さとともにその課題を知り、町の将来の在り方について考える。

高校や大学、特別支援学校との連携の中で視野を広げ、多くの人と関わり合いながら自分自身の将来について考える。」

(1) 1年生の夏、下諏訪町へ行き、本町の姉妹町について学ぶ。

・諏訪湖　・諏訪大社　・八島ヶ原湿原見学など

下諏訪町は南知多町と姉妹町となっています。

(2) 南知多町の産業(漁業・農業・観光業など)とその振興について調べ発表する。

(3) 地域の担い手として、各地区行事へのボランティア参加を図る。

(4) 統合中学校に教育相談担当者を配置し、生徒の悩み相談、不登校対策、各家庭の支援などを充実させる。さらに、各小学校を巡回して児童や保護者対象の相談活動を進め、生徒指導面での連携を強化して小・中間の連続性を確保する。

中学校にあがると、不登校が急に増えてしまいます。小学校と中学校の間には段差があるとよく言われます。それを解消するために小学校、中学校同じ人が教育相談を担当します。

(5) 学校祭では地域諸団体との連携を図り、南知多町をより深く学ぶ機会とする。

(6)小・中学校教員の交流研修・情報交換会を行う。

4 統合後の中学校部活動

(1) 統合中学校に設置する部活動は、従来各校にあった部活動を考慮するとともに、小学校での部活動を生かしたものとして連携を図る。

意見交換会で、小学校で行っていた部活動が中学校にないので、連続性ができないかという声がありました。そこを考慮したものです。ただし、

1 中か3 中かで生徒数が変わるので、設置可能な部活数も変わります。

例) 男子 … 野球、サッカー、バレーボール

女子 … バスケットボール、バレーボール

合同 … 総合スポーツ(柔道、剣道、陸上、水泳という個人でできるものは部活動では設置するのではなく、各家庭で習っているものはそのまま続けていただき、普段の学校では基礎体力づくりを図るという案です。卓球、吹奏楽、文化・芸能。

(2) 中学校にない個人種目で中小体連の大会があるものについては、引率が付き、参加する。

部活動としては、「総合スポーツ部」で基礎体力向上のトレーニングをします。

(3) 生徒が家庭で続けている活動や習い事はそのまま続け、可能ならば部活動にも参加させる。

(4) 朝練習は基本的には行わず、土日の活動はどちらか1日のみとする。

ただし、本人や保護者がより多くの活動を望む場合には、さらに1日の活動を補完する体制づくりを進める。この場合、活動場所は中学校だけにとどまらず、町内の各施設を活用する。社会体育施設もあるので使えるようにということです。

5 移行時期への配慮

(1) 移行時期には、小・中学校ともに各校の交流を進める。

(2) 統合が決まった後の中学校部活動については、統合時を見据えた部活動も可能とする。それぞれの学校では人数が足りなくて活動できなくても、土日に集まって練習することを想定しています。

(3) 定期便が欠航の時は、島に残ったまま授業を受けられる手立てを準備する。今、GIGAスクール構想が進んでいます。これは児童生徒に一人1台のタブレット渡し、そのための環境整備をするというもので、近いうち実現するものと考えています。もし、両島の生徒が半島側に通うようになって船が荒れて動かないとき、島に残ったまま遠隔授業を受けるといったものです。

6 高校・大学との連携

(1) 各分野で、近隣高校(内海高校や日本福祉大学附属高校等)との連携を図る。

・小中学校ともに、部活動の交流、進路学習、施設利用、文化交流など

	<p>(2)部活動や体育の指導に関しては日本福祉大学スポーツ科学部と、特別支援教育、不登校対策や保護者の子育て支援に関しては教育・心理学部との連携を図る。</p> <p>(3)小中学校は、大学生の教育研究活動や学校現場体験実習に協力する。</p> <p>(4)教職員研修において、大学・高校との連携を進める。</p> <p>7 保育所との連携</p> <p>(1)小学校教員と保育士は交流研修を行い、保育や教育の実情をお互いに学び合う。保育所と小学校では行っていることが違っていたり、段差があるように感じています。お互いに関ることにより段差を低くしたいと思います。</p> <p>(2)中学生の希望者は、保育所で職場体験をしたり、家庭科の時間に保育実習をしたりする。</p> <p>(3)保育所年長児は、小学校での生活体験をして交流を密にし、保・小間の連続性を確保する。</p> <p>ご説明したものは、あくまでも案というものであり、決まっているものではありません。1中5小（3中5小）の案を出していますが、まだ統合は早いという意見であればこの案も変わってしまうかも知れません。幅広く受け止めながら皆さんの意見をお聞きしていきたいと考えています。</p>
座長	事務局の具体的かつ詳細な説明が終わりました。ご意見・ご質問がございましたら、ご発言願います。いかがでしょうか。
座長	「6」のところで高校大学等の連携が示されていました。その中で、日本福祉大学附属高校との連携がある。元内海中学校の校長が附属高校の副校長を務められ、地域とのつながりを大事にしているので連携できるかなと思いました。また、スポーツ科学部が熱心に美浜町との部活動の指導や体育の授業の補佐に取り組んでいます。機会があればつないでいこうと思います。新しくなった教育心理学部との連携も学部長に町から依頼があるかもと伝えておきます。併せて、社会福祉学部でスクールソーシャルワーカーを目指している学生もいます。学生ボランティアとして小中においており、学校の文化、子どもたちのふれあいを学ぶ機会となっています。補足でご意見させていただきました。
教育長	中学校の部活の顧問は専門にやってきた種目ばかりでないので、大学生の力を借りられたら良いと考えています。スクールソーシャルワーカーは本町で2名いますが、子育てで悩んでいる家庭が多いので、大学で学んでいる方の力を借りられると良いと思いました。
座長	他にご意見・ご質問がありませんか。
参加者A	具体的な手立ての例の中で、コロナウイルスに対する予防、対応はどうなっているのでしょうか。

教育長	今説明した内容は、新型コロナがどのようになっていき、どういった対策を取っていくのかを加味しないで提案しています。実施の際には、必要な対策をプラスして考えていくこととなります。
座長	他にないようですので、それでは、この「学校教育の在り方（案）」を踏まえながら、次回からの懇談会を進めていきます。
(3) 今後のスケジュールについて	
座長	次に「(3) 今後のスケジュール」について、事務局の説明を求めます。
事務局	資料4「南知多町学校規模適正化懇談会 開催スケジュール（案）」について説明 本日を含め5回の開催を予定しています。次回以降は役場大会議室へ直接お越しください。次回は、1中5小あるいは3中5小についてご意見をいただけたらありがたいです。 児童生徒数の現状、今後の推計及び課題や学校施設の現状と課題について、関係校の建築物などの資料をお示しし、検討いただきたいと思います。それを踏まえて基本的な方針を出し、3回目、4回目で、小学校の適正配置、中学校の適正配置、あるいは小規模校を存続させる場合の対応などの議論を深めていただきます。最後、第5回目はこの懇談会の意見をまとめ、方向性をまとめていただきます。 いずれにしても、それぞれの地区、団体へ持ちかえり、積極的に意見を持ち寄り、意義な懇談会にしていただけたらありがたいです
座長	事務局の説明が終わりました。あと4回設定されています。 ご意見・ご質問がございましたら、ご発言願います。いかがでしょうか。
参加者B	要綱によると、この会の目的は、意見又は助言を求めることとなっています。会自体には決定権はないということでしょうか。
教育長	会で決定するのではなく、意見等を町に提案することとなります。
参加者B	我々の任期は1年で終わりでしょうか。
事務局	要綱では任期は決めていません。ただ、この会の目的は、基本計画の策定であります。基本計画を12月までには作成したいと考えていますので、今年度中ということになります。
参加者B	来年は、この会はないということでしょうか。
事務局	この会は今年度限定と考えています。
座長	他にいかがでしょうか。
参加者C	基本計画の内容はどのようなことでしょうか。
事務局	基本計画は、どことどこの学校を統合するのか、統合しないのか。しなければどうしていくのか。統合するとしたらいつするのか、どこに設置するのかなどの計画を策定します。

座長	他にないようですので、それでは、この日程で懇談会を開催することとします。次回は、7月1日（水曜日）、午前10時から、会場は今日と同じ、ここ、大会議室となります。
（４）その他	
座長	その他について、参加者の皆様、全体を通じまして、ご意見やご質問がありますでしょうか。
参加者B	次回以降の資料は事前に配布いただけますか。その場で配られて質問は難しいと思います。
事務局	次回以降、資料の内容が多くなります。事前に読んでいただくことや、場合によっては各団体の意見を聞いていただくこともあるかと思います。本日は、お渡しできませんが、なるべく早くお渡ししたいと思います。
座長	他にありませんか。ないようですので、進行の方にマイクをお返しします。
事務局	<p>長時間にわたる視察・会議、お疲れさまでした。今回は、第1回目ということで協議する時間があまりとれませんでした。本日お配りしました資料、特に資料3につきましては、各団体に持ち帰っていただき、ご意見をお聞きしてください。それをもとに、2回目からの協議が始まります。</p> <p>従いまして、ご都合が悪く欠席される場合には、必ず、各団体から代理の方の出席をお願いします。会議日の前日までに電話で報告いただければ結構ですので、お願いします。また、お配りした資料とファイルは次回以降お持ちください。</p> <p>それでは、本日の第1回南知多町立小中学校規模適正化懇談会はこれで終了といたします。ありがとうございました。</p>